

どんな障害があっても一人の市民 ～ふつうに暮らせるまちづくり～

みたか共同作業所むうぶ舎
地域精神保健社会福祉協会 (CMSA)
宮川 齊

1. 三鷹市～こんな街からの報告です

発展する新都心新宿から西へ中央線で20分 東京全体では中央よりやや東 標高50～60m ほぼ平坦 西に野川(この部分40数m 日本有数の巨大水車) 東に玉川上水・神田川 中央に仙川 面積16.4km² 人口16.2万人 地方交付税不交付団体 医師である元市長が公衆衛生に注力し下水道100%達成日本一 コミュニティ行政 市民会議(市民参加の仕組み) 23区と多摩の接点 「ふれあいをもつしあわせ都市」(高環境・高福祉)

<精神保健福祉関係>

- ・市民は意識していないが精神病院が多い 市内病院で約1300床 隣接市に約400床
- ・87年まで、地域の社会資源は「三鷹保健所のデイケア活動」だけ
- ・88年、市内最初の精神障害者共同作業所、市民運動から発足 同年、家族会発足 いずれも他市に比べ早くはない
- ・91年、市基本計画に「精神障害者の自立促進」 他市に先んず 市民の動き
- ・92年、社会福祉協議会「精神保健ボランティア講座」開講 以後毎年
- ・93年、ボランティアグループ「おいしい会」「一葉会」発足 96年からは「ほのぼのふらっとCafe」も
- ・96年、市基本計画(改訂)に「精神障害者施設の整備・充実」
- ・現在、作業所9箇所 人口比では都内最高の設置率 補助金も都内最高クラス
- ・97年、統廃合で保健所が無くなった 市民の健康を守る自治体の姿勢が問われる
- ・マスタープランが必要だが、行政内に精神保健福祉の蓄積・要員少

2. 「精神障害」との出会い～むるっく相談室で

- ・市民の市民による市民のための相談室 一切無料 何でもどうぞ 相談員はボランティア 多くの専門家の協力
- ・地域の労働運動や様々な分野の市民運動を行なう人々が出会った
- ・ベースである地域に気づく 具体的には基礎自治体 自治 市民によるまちづくり
- ・映画会等のイベント 「たべもの村」をたまり場に交流会 孤立化した都会の暮らしに人々のつながりを だれもが暮らしやすい街を自分たちの手で
- ・85年夏設立 毎月1000円の会費 100人以上の会員 マンションの一室で相談活動開始
- ・始めて初めて気づいた「こころの病」の多さ 相談件数の3割強 精神病院の多さ

- ・86年秋、相談員のためにカウンセリング講座開始 市福祉職員や保健婦にも参加を呼び掛ける よその街には“共同作業所”というものがあるという…
- ・87年夏、「三鷹に精神障害者の共同作業所づくりを進める会」発足 学習会 作業所づくりへ この時点で市内に家族会無し
- ・88年4月、みたか共同作業所（むうぶ舎）発足

3. 障害を持ってこの街で～むうぶ舎の歩み

- ・五つの理念～発足にあたり関係者が何日も何日も夜遅くまで話し合った
 - ①出会いと憩いの場：退院後、街の中につながりを作り出す“場”が必要
 - ②生活体験の場：生活技術以前の社会で暮らすイロハを身体で覚えること
 - ③働き場：人間としての全体性の回復のために
 - ④市内関係機関のネットワークづくり：作業所だけで人は生きられない
 - ⑤街の人々への精神障害の理解のための働き掛け：専門家だけでは駄目 街が変わる事
- ・当初、ボランティア団体の事務所に間借り カネとヒト求めバザーを
- ・90年、自前の事務所 雑多な企て 不思議なエネルギー
- ・93年、メンバーも増え第二作業所 “憩いの手づくり工房”と“リサイクルショップ”に分化 同時に、広く市民に向けた心の電話相談室「めんたるこーる」開設
- ・96年、多様化するメンバーのニーズの中で“働きと出会い”にポイントを絞り第三作業所「食茶房むうぶ」開設 命の源“食”＝職 会合の出来る和室 ギャラリー コンサート 配食サービス 時給700円を超す
- ・街の中で街の一員として生きる 住民協議会への参加（厚生部会委員、コミュニティまつり、運動会、盆踊り等） リサイクルショップは地域の商店会に参加 英語教室受講
- ・自治体の計画に積極的に提言、参加
- ・96年の第三新設に際しては他団体と協力して市と交渉（市の補助金を3分割提案）

4. 障害を越えたつながり～街を変えるために

- ・現状を良くするには自分たちのことだけでは駄目
- ・90年、市の基本計画策定（1991～2000）を前に、市内の様々な障害者団体・作業所に呼び掛け“障害者も一人の市民として計画に意見を”反映させようと「三鷹市障害者福祉懇談会」結成 意見書提出
- ・懇談会は会合を定例化、組織化 障害に関わる団体・個人の連絡機関として成長
- ・92年の「福祉プラン21」策定に際し計画案検討市民会議委員に（存在を認められる）
- ・仕事を受注するため「三鷹市障害者ワーククラブ」結成 市より公園清掃を団体委託 また市役所内の売店、高齢者住宅1階に喫茶店開設運営 奮闘中

“どんな障害があっても一人の市民”のほんとうの実現はたやすいことではない。しかし、その過程で様々な学びと人間としての成長をもたらせてくれる、やりがいのある、希望のある企てだ。
 （別紙「むうぶ舎活動図」）

